



# 学校運営協議会だより

令和7年2月3日(月)  
国立市立国立第四小学校  
校長 牧野 陽一郎

合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい 国立第四小学校」

令和6年度 第5回学校運営協議会を開催しましたので、議事の概要を報告します。

開催日時 : 令和7年1月24日(金) 9:30~11:30  
会場 : 国立第四小学校 第一会議室  
出席者 : 緑川隆(会長) 日吉友里奈(副会長) 牧野陽一郎(校長) 榎本七重  
立入秀子 関武彦 齋藤裕子 松ノ木由季  
地域学校協働活動推進員: 日吉友里奈

《主な協議内容》 司会: 緑川隆(会長) 記録: 柏木光晴(本校CS推進委員)

- 令和7年度教育課程の編成について
- 令和7年度学校経営計画(学校経営方針)について
- 学校評価報告書について

※以上協議内容について、学校運営協議会は承認しました。

《主な意見》

- 令和7年度教育課程の編成について
  - ・インクルーシブ教育は、様々な児童がいる学校でみなが安心して学べる環境をつくっていく。また、自分の居場所は自分のクラスだということを感じることができるようしていきたい。学校満足度調査で、友達関係を中心に満足いく学校生活を送ることができているかを確認し、指導に生かす。
  - ・学級会、たてわり班、クラブ等について、次年度は研究の予算があるので、特別活動、体育を基にウェルビーイングを目指す。
  - ・集団登校では、安全確保と人間関係について安心できることを明記している。
  - ・学級通信について(週に1回)保護者の方がクラスの様子を知ることができる。何か起きてから行うのではなく、日常の学級の様子を伝えることで、保護者と情報を共有することで危機管理(問題が起こる前に未然防止)を行っていく。
- 令和7年度学校経営計画(学校経営方針)について
  - ・経営方針の大体は、学校目標をもとにして、つくられている。「教師の生命線は授業である」ということを大切にしていきたい。
  - ・教師の自覚について 100の項目を伝えている。教師の関わりが四小の児童をよい方向に向かわせると考えている。職務の意義の確実な理解、進行管理を確実に行うこと、自らの能力を高めること。
- 学校評価報告書について
  - ・2学期の姿勢に関する項目の評価が少し低くなっていることについては、1学期は緊張感も高く、周りが見えて自分に対して余裕ができることで、2学期は冷静に考えることができるのではないかと。また、集中させると姿勢が崩れることもある。型にはめた正しい姿勢があると思うので、場面を設定してアンケートをとったほうがよいのではないかと。
  - ・あいさつをしたことによって、自分がどう変わって、実感できるかどうかを大事だと考えているので、自らを振り返る場面を意図的につくってほしい。その中で、本人の改善具合を記述する。自分の改善具合を評価するというものではないかと。
  - ・いじめに関する事案については、いじめ対策基本法では、学校外のいじめも対応しなければならないとされている。情報を得たら、学校に相談してください。個人情報の扱いは、慎重に対応する必要があるため、保護者と連携しながら取り組んでいる。
  - ・SNSや携帯に関するトラブルが報道等でも多く話題に挙がっているところなので、改めて保護者に携帯の扱い方について、理解啓発を図ってもらいたい。

※第5回学校運営協議会は、協議内容・主な意見について記録に残すことに承認しました。

次回の学校運営協議会は、令和7年2月19日(水)9時30分より国立第四小学校で開催します。